公益財団法人小林財団
「医学部生育成支援プログラム」実施要項

1. 名称
「医学部生育成支援プログラム」とする。

2. 趣旨
我が国における医学・生命科学の分野、特に、基礎医学研究の更なる発展を願い、国内の大学の医学部に入学し、医学に対する高い志と熱意を抱く前途有為な日本人学生に対して奨学金を支給する。

3. 対象
当財団が指定する大学の医学部（又は教養学部の医学科進学課程）に入学した者（1 年次生）とする。

4. 奨学金
月額 20 万円とし、医学部（又は教養学部医学科進学課程及び医学部医学科）に在学する 6 年間について支給する。
また、当該学生が同大学の大学院博士課程に進学した場合には、在学する 4 年間につき、奨学金を延長して支給する。

5. 募集人数
各年度 8 名程度とする。

6. 募集形態
当財団が指定する大学（指定大学）からの推薦とする。

7. 申請及び選考
①申請は、指定大学の事務局を通じて行う。
②指定大学から提出された応募者について、財団内に設置する選考委員会において、選考基準に基づく公正な選考を実施する。
③奨学生の決定は、選考委員会の結果を踏まえ、理事会で決定する。

8. 指定大学
東北大学、東京大学、京都大学、大阪大学の 4 大学とする。
今後、事業の進捗、財団の予算等を勘案し、大学数及び人数等の拡充を図る。

9. その他
本プログラムの「創設の理念及び求める学生像」については別紙のとおり。

以上

別紙（東京大学）

公益財団法人小林財団
医学部生育成支援プログラム
「プログラムの理念及び求める学生像」について

〇プログラムの理念

近年、医学部出身の基礎医学研究者数が著しく減少してきており、我が国の基礎医学研究の将来が危ぶまれている。長期的視点で基礎医学研究者の育成を推進するとともに、研究のさらなる活性化を図るものである。

〇求める学生像

将来において、我が国の医学界を牽引するような研究テーマと実績が期待できる学生。特に、独創的な研究を行いノーベル賞の受賞など世界を代表するような研究者となることが期待される者。

〇指定大学

学部から大学院（博士課程）まで一貫した医学研究者育成プログラム(MD-Ph.Dコース)の開設など、本プログラム趣旨に合致した積極的な取組を行っている教育・研究におけるトップクラスの大学を指定する。

〇その他

本支援プログラムは、財団と大学との緊密な連携のもとに実施するものとする。

令和7年4月1日
公益財団法人小林財団
医学部生育成支援プログラム
選考委員会

別紙（奨学生）

公益財団法人小林財団
医学部生育成支援プログラム
「プログラムの理念及び求める学生像」について

○プログラムの理念

近年、医学部出身の基礎医学研究者数が著しく減少してきており、我が国の基礎医学研究の将来が危ぶまれている。長期的視点で基礎医学研究者の育成を推進するとともに、研究のさらなる活性化を図るものである。

○求める学生像

将来において、我が国の医学界を牽引するような研究テーマと実績が期待できる学生。特に、独創的な研究を行いノーベル賞の受賞など世界を代表するような研究者となることが期待される者。

○指定大学

学部から大学院（博士課程）まで一貫した医学研究者育成プログラム(MD-Ph.Dコース)の開設など、本プログラム趣旨に合致した積極的な取組を行っている教育・研究におけるトップクラスの大学を指定する。

○その他

本支援プログラムは、財団と大学との緊密な連携のもとに実施するものとする。